

■ 梅田で学びの高度化・多様化を追求 ■
天六キャンパスを売却し、梅田に新拠点を開設
～地域・社会人・大学がともに発展できる新たなハブ機能として～

このたび関西大学は、大阪市北区長柄西1丁目にある天六キャンパス（9273.89 m²）を阪急不動産株式会社に売却し、現在、阪急電鉄株式会社が保有する大阪市北区鶴野町の土地（806.57 m²。現況は駐車場）と、この土地に建設される建物（平成28年8月竣工予定）を阪急不動産株式会社から購入することになりました。

関西大学は明治19（1886）年に夜間の法律学校として創立されました。昭和4（1929）年に開設した天六キャンパス（旧称：天六学舎）では、この伝統を受け継いで長らく夜間教育が行われ、数多の優れた人材が輩出しました。しかし、時代の趨勢から、平成6（1994）年4月には第2部（夜間部）の全学部を千里山キャンパスへ全面移転することになりました。それ以降は、エクステンション・リードセンターが社会人向け講座の開設や、一部の大学院研究科がテレビ会議システムによる遠隔授業を実施していましたが、十分な有効活用ができていませんでした。そこで、長期行動計画の具体的施策として「サテライトキャンパスの新設や天六キャンパス等を含めた遊休地の活用策の検討」を掲げ、鋭意検討を続けてきたところ、今回ようやく具現化した次第です。

本学が今回の売買に踏み切った理由は、主として次のとおりです。

- (1) 第2部が千里山キャンパスに全面移転した平成6（1994）年度以降、天六キャンパスの跡地利用について20年間にわたり試行錯誤を続けてきたが、十分に有効活用できなかったこと。
- (2) 天六キャンパスに多額の資金を投下しても、教育研究上の新たな展開は極めて困難であること。
- (3) 近隣の土地需要の動向から判断して、天六キャンパスを手放すには適当な時期と考えられること。
- (4) 購入する土地は阪急「梅田駅」から徒歩4分、JR「大阪駅」から徒歩8分程度と、交通至便の立地にあること。
- (5) 梅田周辺でまとまった土地を取得するのは非常に難しいとされているため、またとない好機であり、本学にとって大阪の中心地に自前の拠点を所有できるので、新たな展開が可能となること。
- (6) 特に天六キャンパスがかつて担っていた「社会人を主たる対象とする教育機能」を継承する場合、良好なロケーションにあること。
- (7) 千里山キャンパスから教育研究機能の一部を移転することで、千里山キャンパスの狭隘化の緩和につながり、再編を構想できること。

北区鶴野町の新たな土地・建物における教育・研究上の利用方針は、学是「学の実化」を基調とし、『西日本の中心的な都市空間である梅田において、学びの高度化・多様化を追求し、地域・社会人・大学がともに発展できる新たなハブ機能』をテーマに掲げ構築するものとします。梅田駅前という地の利は、本学が有する知的資源の社会還元を一層推進し得る機会となると同時に、天六キャンパスが長らく果たしてきた社会人教育の伝統を今日的に継承するものでもあります。

具体的な事業構想として次の4点を想定しながら、今後、検討を加えることとします。

- (1) 本学の長期行動計画や国の施策に掲げられた社会人対象の学習機能
 - ・企業人材のグローバル化・高度化支援に対応した「社会人学び直しプログラム」の提供
 - ・既存大学院の社会人向け科目の開講

- (2) 都心部での展開に高い教育的効果が期待できる教育研究機能を一部移転し、千里山キャンパスの狭隘化を緩和
- ・臨床心理系の大学院機能の移転（*1）
- (3) 先行して梅田進出を準備中の諸機能や、リーガルクリニックなどを展開している現行の中之島センターの包含的集約（*2）
- ・心理臨床センター（仮称）（*1）
 - ・キャリアセンター梅田オフィス（仮称）
- (4) 在学生、教職員、校友、企業や地域社会との交流・情報発信拠点
- ・交流サロンの開設
- （*1）臨床心理系の大学院と心理臨床センター（仮称）とが有機的・一体的に連関することにより、教育効果を高めます。
- （*2）上記(3)については、当建物が完成するまでの間は、梅田にある賃貸ビルを借用することで対応します。

なお、今後の主な予定は、次のとおりです。

- (1) クロージング・イベント…………… 平成 26 年 9 月 3 日
- (2) 天六キャンパス学舎等解体工事開始…………… 平成 26 年 10 月
- (3) 北区鶴野町新築建物建築工事開始…………… 平成 27 年 6 月
- (4) 北区鶴野町新築建物竣工…………… 平成 28 年 8 月

以 上

■ 関西大学 天六キャンパス

住所： 大阪市北区長柄西 1 丁目 3-22

土地： 9,273.89 m²（公簿面積）

建物： 12,769.41 m²（延床面積）

IPC (C)2014 INCREMENT P CORP.
[許諾番号] 規約用途以外の利用を目的とした
[PL1005] 地図データの無断複製を禁ずる

■ 取得した新たな拠点

住所： 大阪市北区鶴野町 1

土地： 806.57 m²（実測面積）

建物： 計画中

IPC (C)2014 INCREMENT P CORP.
[許諾番号] 規約用途以外の利用を目的とした
[PL1005] 地図データの無断複製を禁ずる

※ 現況は駐車場

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：中川、^{よりふじ}依藤
 〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 Tel. 06-6368-0007 Fax. 06-6368-1266
 www.kansai-u.ac.jp

この伝統を、超える未来を。



天六キャンパスの沿革（概略）

1927(昭和2)年	福島学舎の敷地の一部が鉄道用地に収用され、東淀川区北長柄町 399 番地の市有地 7,306 m ² を譲り受ける。
1928(昭和3)年	天六学舎建設の地鎮祭を挙げる。
1929(昭和4)年	天六学舎が竣工し、専門部、関西甲種商業学校及び関西大学第二商業学校が福島学舎から移転する。
1930(昭和5)年	専門部第1部（昼間部）を設置する。
1934(昭和9)年	専門部に専属教授・助教授を定め、教授会を組織し、部長を任命する。
1935(昭和10)年	大学本部が竣工する〔1965(昭和40)年に千里山に関西大学会館が竣工するまで、法人本部の所在地〕。
1937(昭和12)年	天六学舎の増築が完了する。
1944(昭和19)年	関西大学第二商業学校を廃止する。 関西工業専門学校を設置する〔1951(昭和26)年3月廃校〕。
1947(昭和22)年	学制改革に伴い、専門部（第1部・第2部）は解消。関西甲種商業学校も解消し、新制高等学校に改編することを決定する。これを受け、関西大学第一中学校を設立する〔1957(昭和32)年に千里山に移転〕。
1948(昭和23)年	新制大学に移行 関西大学附属第一高等学校を設立する〔1953(昭和28)年に千里山に移転〕。
1949(昭和24)年	関西甲種商業学校の最終卒業式を挙げる。
1951(昭和26)年	専門部と関西工業専門学校の有終記念式典を挙げる。
1952(昭和27)年	学部第2部（夜間）1年次の授業を千里山から天六に移転する。
1953(昭和28)年	学部第2部（夜間）の全部を千里山から天六に移転する。 天六学舎新館を竣工する。
1956(昭和31)年	天六学舎体育館を竣工する。 第2診療所を開設する。
1958(昭和33)年	工学部を設置する。
1959(昭和34)年	千里山に工学部の実験実習場が建設され、講義は天六、実験は千里山で行われる。
1960(昭和35)年	千里山に第4学舎が竣工し、工学部が千里山に移転する。
1964(昭和39)年	有鄰館を竣工する。
1967(昭和42)年	有鄰館を3階建に増築する。
1975(昭和50)年	部落問題研究室分室を開設する。
1994(平成6)年	第2部を天六から千里山に全面的に移転する。
1997(平成9)年	エクステンション・リードセンターを設置する〔2009(平成21)年にその機能を千里山に集中〕。
1998(平成10)年	大学院総合情報学研究科の遠隔授業を実施する〔受講希望者がいなくなったことから、2010(平成22)年から遠隔授業を時間割上配置せず〕。
2003(平成15)年	千里山において、従来の第1部・第2部制を廃止し、昼夜開講制（デイトムコース、フレックスコース）を導入する〔2005(平成17)年度以降、デイトムコースとフレックスコースが順次統合〕。